

## 平成30年度第1回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	平成30年5月19日（土） 午後1時30分 ～ 午後3時32分	
開催場所	加茂文化センター 第1・2研修室	
担当議員	班代表者	炭本 範子
	司会者	伊藤 紀味枝
	報告者	谷川 光男
	記録者	柴田 はすみ
	班員 (上記以外)	長岡 一夫・尾崎 輝雄・宮嶋 良造
参加人数	10人	
主な質疑・意見等	<p>Q 議員定数及び議員報酬検討特別委員会の発足目的と違う動きが起きていると聞くがどうか。</p> <p>A 委員会の目的は、具体的な案を持たずに議員定数と報酬のあり方を検討することにあるが、委員会の審議の前に出された会派だよりが具体的な議員削減などを書いたことから、目的と違うではないかと議論になっている。</p> <p>Q 副地域長を一人にする議案が可決された。賛成した議員の意見が聞きたい。</p> <p>A 地域長に何か不都合なことがあった場合、複数の副地域長がいることで、誰にお願いするのか等、問題が起きているとの事。地域の実情に合わせて呼称等柔軟に対応すれば良いが、役所に届けるのは一人になるということで賛成した。</p> <p style="text-align: center;">【その他賛成議員が、発言した。】</p> <p>○地域長制度の改正に関して、参加者から多くの意見があった。 現状をわかっていない。地域長、副地域長でないと、災害等起こって連絡等している時に何かあっても、市から何の補償もない。そこが1番心配。 南加茂台は、15人の副地域長がいたが、3人の代理を決め対応していたので、何の問題もなかった。決まったものは仕方ないが、3月議会で決定し、4月から運用を行わなければならない、準備期間も短いため来年からにして欲しかった。 当尾区は、家が点在しているため、地域長、副地域長だけでは対応できない。もっと市民の意見を聞くべき。 自治会に入らない方が多くなっている。これを機会にもっと魅力ある自治会制度に変えていくべき。 議員は、今回の改正に住民の意見を十分聞いたのか疑問だ。</p>	

	<p>Q 赤田川樋門が完成したが、市から管理して欲しいとカギをもってきた。いくらでも協力するが、作業中に事故が起こったら、補償してくれるのか。</p> <p>A 行政に確認する。</p> <p>Q 防犯灯がLED化となりありがたいが、足元が暗い。角度等問題があるのではないか。</p> <p>A 地元でまとめて、行政に要望してほしい。</p> <p>Q 防犯灯の8,500か所のLED化は、今年度中にするのか。また、防犯灯の設置について、近所の方の声を聞く配慮をしてほしい。</p> <p>A 今年度中に行う予定である。設置場所は、前と同じところと聞いている。全ての声は聞けないかもわからないが、市に伝えておく。</p> <p>Q 市長は、職員給与の減額の理由は、基金が8億円減ったといているが、それは大変なことなのか。そうなったのは、市長のやり方が悪いからではないのか、また、議会に責任はないのか。</p> <p>A 市長は、財政難の理由として、基金の減額と経常収支比率が悪化したこと、合併算定替えによる交付金の減少である言っている。その対策として、特別職と、職員の給与を3年間減額することや、公共施設の廃止、職員数を減らし対応していくと言っている。 議会も、それらを可決したのだから責任はある。</p> <p>Q 議案について反対討論だけで、賛成討論を載せていないのはなぜか。討論がなかったからなのか。なぜ賛成したのかも聞きたい。</p> <p>A 討論は全て載せているから、無かったということである。</p> <p>A いつも反対討論だけでなく、賛成討論もするべきといている。また、6月議会もあるので言っていく。</p> <p>Q 新学校給食センターのアレルギー対応食が100食となっているが、100食でいいのか。実態を調べ対応してほしい。 また、幼稚園給食が継続し、小中学校で給食が食べられない先生がいると聞くがこれからどう進めていくのか。</p> <p>A アレルギー対応食については、要望として伺っておく。幼稚園給食の件は、新給食センターができるまでの苦肉の策だと思っている。</p>
<p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p>	
<p>その他特記事項</p>	

上記のとおり、報告します。

平成30年 6月 8日

木津川市議会議長 高味 孝之 様

平成30年度第1回議会報告会

第2班 代表者 炭本 範子 ㊞